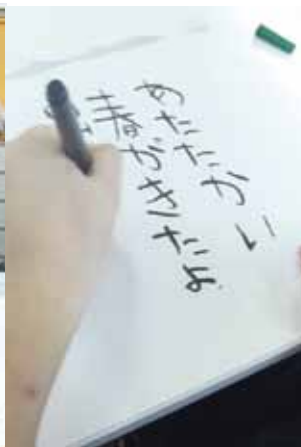


発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



今年はみんなで作る

～筆ささるびカレンダー～ 2017 酉



かの名将、武田信玄はこう言いました。「人は城、人は石垣、人は堀…」と。一人一人の持ち味を上手に積み重ねて、一つの強固な城が出来上がるという事です。

太い字、細い字、濃い字、薄い字…それはまるで大小様々な石垣が綺麗に積み重なって完成した姿は、まさに天下の名城・おれんじ村城。

今年もおれんじ村の皆の持ち味を一つ一つ積み重ねて、素敵なかレンダーが出来上がりました。1月から12月まで、それぞれの季節にちなんだ詩を皆で決めて、各月の担当が味のある筆ささきでしたためました。

心温まる詩と個性豊かな筆がきっと皆さんの一年を、より彩り豊かなものにしてくれると思っています。是非お買い求めの上、チェックしてみてください。

～みんなの頑張りで立派なかレンダーが出来ました～



毎年恒例

【～共同連全国大会in大阪報告～】



🍊 おれんじ村から 松尾さんの発表

松尾 芳美

日頃のもやもやを沢山のドキドキに変えてくれる共同連全国大会。今年は、震災後にお世話になった方々に「ありがとう」を伝える事と元気な姿を見せたいなって、今年も参加してきました。

前日入りして吉本新喜劇に道頓堀。たこ焼きに串カツ。総勢9人、賑やかな看板と聞こえてくる関西弁にテンションUP。翌日から大会。

共生シンフォニーで実習してたMさんと合流したら、関西弁になって笑った。開会式？中は、販売ブースでお菓子の販売。くまモン体操を踊ったAさん。お客さんから沢山の応援をいただきました。

午後から分科会。障害のある・なしに関わらず、共に働く【共同】について、働く人すべてが平等に1票を持ち、物事を決めていく。仕事をどうやって拡大していくのかなどなど。ドキドキが沢山！

交流会也大賑わい。熊本のメンバーだけじゃなく、ボランティアに来てくれた方やどこの人もわからない人とごちゃ混ぜで食べて、飲んで、話して、踊れました。元気な姿を見せたかな？

最終日は震災のシンポジウム。

阪神・淡路の震災から20年経ってもなお、障害者が一般避難所に行けない、合理的配慮がされていないこの常況を変えて行かないといけない。これからの自分達の課題であると思いました。

充実の2泊3日。沢山もらったドキドキを活かしていきます。



🍊 全体会の様子

岩尾 将史

1日目の大阪観光では、吉本新喜劇を見て、たこ焼きを食べて、串カツを食べました。大阪を満喫しました。2日目の昼に分科会がありました。私が入った分科会は、最初にビデオを見ました。それがまさかの字幕でしたので、内容が解りませんでした。後でそのポイントを聞いて、内容を理解しました。それは、販売する時には「ツテ」が大事だという事でした。今後の営業の参考にしようと思いました。

2日目の夜は交流会でした。今回、共同連の一ヶ月前に、「今年のおれんじ村の出し物は任せてください」と言って、私ははりきっていました。ただ盛り上がりたいたいからパーフェクトヒューマンをしようと思いました。松尾さんに相談したら、交流会の主旨に合わないと言われました。30周年の時も同じ様に却下された事がありました。何も知らない2年目の新人の私には、荷が重すぎると思いました。結局、今年は「ガッツだぜ！」に決まりました。まず最初に復興支援のお礼を言って、熊本はこれから元気を出していこうという気持ちを込めて、「ガッツだぜ」を歌いました。パフォーマンス大会は盛り上がり、優勝しました。良かったです。

交流会後、ホテルに戻ってこの旅行で一番楽しい事がありました。それは一つの部屋に10人程集まって、夜中の3時位まで部屋飲みをした事です。来年は4時までやりたいと思います。

最終日には販売をしました。ギフトセットを50個持っていったのですが10個余ってしまいました。後を倉田さんに任せたら、10個完売したときいて安心しました。来年もぜひ参加したいです。



🍊 パフォーマンス みんな楽しそう



🍊 吉本新喜劇前にてピース

地震が素敵な出会いを

熊本地震後、明治学院大学の先生方が、おれんじ村を訪問していただいたことをきっかけに、明治学院消費生活協同組合さんでお菓子の販売をたくさんしていただいています。

また、9月には、学生さん6名と先生2名が、おれんじ村に訪問していただき、一緒に食事をしながら交流を楽しみました。地震の体験談を話したり、学生さんからは新商品の提案！？などをいただいたりと楽しく、わいわいと盛り上がりました。

実際に、おれんじ村のお菓子を大学で紹介していただいた先生より、「ただ何か復興支援をというだけでなく、食べてみたら本当においしかったから、大学で紹介をしました。」とのお言葉を聞き、純粋に嬉しかった！！ただただ、こわくて大変だった地震が、素敵な出会いをもたらしてくれました。



明治学院の生徒さんとハイチーズ



東さんの講話中



春美さんの講話中

オレンジカフェに大きなプレゼントが届きました！



電気温水器



プレゼントが届くまでの様子を撮影しています

10月吉日、冷蔵庫と給湯器…『木口福祉財団』からの贈り物です。『木口福祉財団』は、日本国内の自然災害等で甚大な被害を受けた被災地における障がい者の生活や、地域福祉の復旧等の被災地復興助成事業に取り組まれています。今回、私達おれんじ村のカフェ再建にむけた思いやそのために必要な取り組みに対し、支援していただけることとなりました。

9月から簡易的に始まったオレンジカフェですが、地震の傷跡は深く、本来の姿を取り戻すまでには時間がかかると思います。しかし『木口福祉財団』をはじめ、カフェ再開を共に喜び足を運んでくださる皆様、遠くから応援して下さる皆様の思いを感じながら、カフェで働けることに感謝して、毎日仕事しています。オレンジカフェではいま、お弁当配達を始めました。まだまだ試行錯誤ではありますが、いつの日にか大きな冷蔵庫に食材をたっぷり保管して、たくさんの弁当箱を洗うために給湯器が大活躍…となることを目指して、一つ一つ、心を込めてお届けしています。本当に有難うございました！！



業務用冷蔵庫

研修報告

~ユニークな事業所「しげんカフェ」~

♪しげんカフェとは？

資源リサイクル+カフェ+地域交流を重ね合わせたユニークな事業所です。古紙や空き缶の買い取りセンターと喫茶店を併設する。「しげんカフェ」は「行政や税金に頼らず、リサイクル経済の仕組みを作りたい」との思いから3年前に事業開始。

カフェに併設する「しげん買い取りセンター」は新聞、雑誌、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、古着などを買い取る。買い取り価格は新聞・雑誌なら1キロ2円。ポイントカードで「貯金」もでき、その場合の買い取り価格は2倍になる。ポイントをためて換金したり、コーヒーチケットに交換したりできる。

♪しげんカフェ 連絡先はこちら♪

■住所 / 津島市唐臼町代官田 91 ■TEL / 0567-33-0012 ■FAX / 0567-33-0013

宮守文美子

10月28~30日の予定で、研修に行くはずが、10月28日の名古屋行の便が欠航になった。熊本空港が霧でひどかったのが原因。気持ちをとり直し10月29日から出発!! 昼過ぎから資源カフェ研修。ランチをとりながら話を聞く。60歳以上の高齢者中心で、カフェを運営されておりランチのメニューは、トースト・オープンサンドなどパンを中心にだされている。キッズスペースもあり、子連れの方もゆっくりランチも楽しめる雰囲気作りに力を入れている。

ボランティアの方が、厨房を借りて、子ども食堂をされたりして、地域の方との集いの場としてもカフェを利用されている。

資源カフェは、家庭の資源を現金で買い取る、リサイクルセンターと家族や地域の人々が集い憩う喫茶店が融合した全く新しい資源回収システムである。(新聞紙・段ボール・古着・ビン・缶・ペットボトルなど) 資源を買い取りその金額を、メンバーズカードに書き込みその金額が溜まったら、カフェでランチやドリンクを飲む事も出来る。

資源カフェを始める前は、反対の意見が多かったが始められ、今は、津島市全世帯の7割位のお客様がいらっしやり、その日も次々に資源を持って来られた。

ここまで来るのは、大変だったと思うが、今は地域の方とのコミュニケーションもとれ、経営も安定化されている。資源回収のノウハウも分からないといけないと思うが、資源を税金でリサイクルするより、自分たちで集めた方が良いと思い始められた「しげんカフェ」。代表の浅井さんの考えにはすごいと思いました。研修に行けて良かったです。有難うございました。そしてお世話になりました。



🍊 資源を計量して、買取価格の計算



🍊 チケット

お礼とお願い

私たちの共働事業は、障害のある人もない人も一緒に働いて、厳選した材料を使用した商品を皆様のお手元に届けることで成り立ちます。熊本地震をきっかけに、おれんじ村のお菓子を販売していただいている明治学院大学の先生、生徒さん達がおれんじ村を訪問され、地震の体験や商品開発の話など大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、木口福祉財団から被災地復興としておれんじカフェに冷蔵庫と給湯器の助成をいただきました。おれんじカフェ復活の為、毎日フル活動させていただいております。本当にありがとうございます。

今年も残すところ一ヶ月とすし、慌しくも楽しく、色々な方への感謝に満ちながら年末を迎えようとしています。おれんじ村のみんなで作ったカレンダーを手に、新しい年への準備を進めてみてはいかがでしょうか。

製造部・販売部

編集後記

こんにちは。今年もあと1ヶ月となりました。4月に大地震があり、おれんじ村も大変な被害を受けました。全国の皆様より、御支援頂き徐々に従来のおれんじ村に戻りつつあります。木口福祉財団様から立派な冷蔵庫を全国各地から沢山のお菓子のご注文頂き、有難うございました。

お歳暮の時期になり、皆様方の御注文を承っておりますので、どうぞ宜しく願ひ申し上げます。

IT部 E